

東光寺たより 47

大学の恩師の訃報

先日、住職が大学の時の恩師が遷化されたとの風の便りで聞き、すぐにでも駆け付けたい心境でしたが、強烈な寒波の影響で断念した住職。画は SNS でお借りしたものです。イメージ的には漫画ブラックジャックに出てくる本間先生に似ているのでしょうか？とにもかくにも面白く型にはまらない先生だったなとふと思いました。先日お会いした時は、よおーワシなんかの下らん話聞いとってくれたのぉーとあっけらかんとした姿が印象的でした。また、先日お話の際には、さあ一何から話そうかなあ・・・とか、副住職が先日講習を受けた際は、いきなり怒り出して全員失格とか、とにかく逸話の多い先生。転じて世間はまだまだ教を乞いたいと思う人ばかりが亡くなっていく。世の習いと言いますが、寒い時代だと思う住職でした。唯々、ご冥福を祈るばかりです。



印象に残る法事

先日、とある方の 49 日の法事は住職と同年の方でありました。この便りでもお伝えしたと思いますが、お葬式は去年間際だったと記憶しております。さて、此度の法事です。供養が終わった後にふと遺族が、助けてくれって言うのが下手な人やったよなとボソリと呟くシーンが印象的でした。故人は寂しい気持ちを表現出来なかったんだろうな・・・とてつもなくと推察されます。そんな気持ちを察してか、当山看板犬のそうちゃんがいつも以上に明るく元気に寂しくないようにと振舞ってくれているのが印象的でした。

臨済宗の公案（師匠と弟子の問答）の一つに 狗子仏性（くしぶっしょう）というものがあります。禅の代表的な公案のひとつ。『無門関』第 1 則。 趙州和尚じょうしゅうおしょう、因ちなみに僧問う、狗子（くし）に還かえって仏性ぶっしょう有ありや、也また無なしや。州しゅう云いわく、無む。犬にも仏性があるか、それともないか？という内容の問答ですが、よく分かりますよね。何故、犬なのか？とか。住職が専門道場に在籍中に師匠に問答として与えられ、その答えを持っていくのですが、これが全然通らずに、ただ“無——”と只管言わされる。とりあえず時が経ったら、良からう次じゃと言って次のステージへ。所謂、ミッションクリアみたいな感じでした。当山の看板犬のそうちゃんがお参りのお客さんに愛想よく振りまくのを見て、つい昔を思い出した住職。犬にも仏性（仏の心）が有るのか？無いのか？を訊ねられたら、その執着や固執から脱却した有無や主観客観どちらにも属さない中道の領域の難有さを垣間見た気が致します。ただ、法事出来て良かったもしくはまた来るねそうちゃんって言うて下れるお客さんを眺めて、そこに一つの指標が有るのではと思えてならない住職でした。



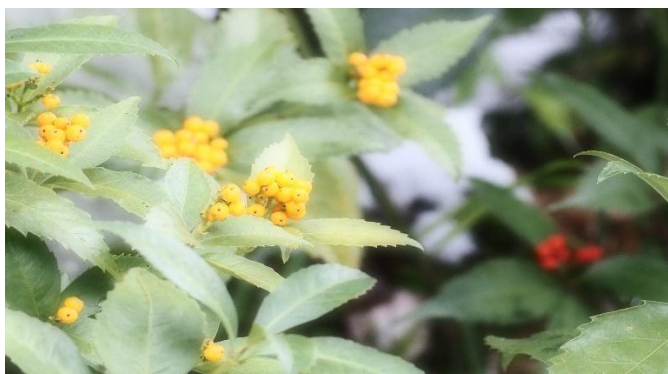
家族の絆が深まる

1月最後の日曜は折しも寒波の真っ最中で雪が積もる境内。遠くから見える檀家さんは大丈夫だろうと思ってた矢先、参道の坂道でまさかの車が立ち往生してしまい歩いてのお参りになりました。法事が無事に済み、住職もスコップ持って見に行きますが、すんでのところで溝にはまらず危機一髪でした。されど踏み固められた雪は思いの外、手ごわく脱出には手間を要したのですが、程なく脱出して安堵の表情。その際、家族全員で対応する姿を見て絆が深まったと述懐される当家。住職はそもそも、故人が必ず危機を回避して下れると強い確信を持っておりました。そして無事に帰宅の途に就かれるお客さんの姿を見て良かった思うのは元より、今回もそうちゃんが接待に励んでくれて心強い住職でした。

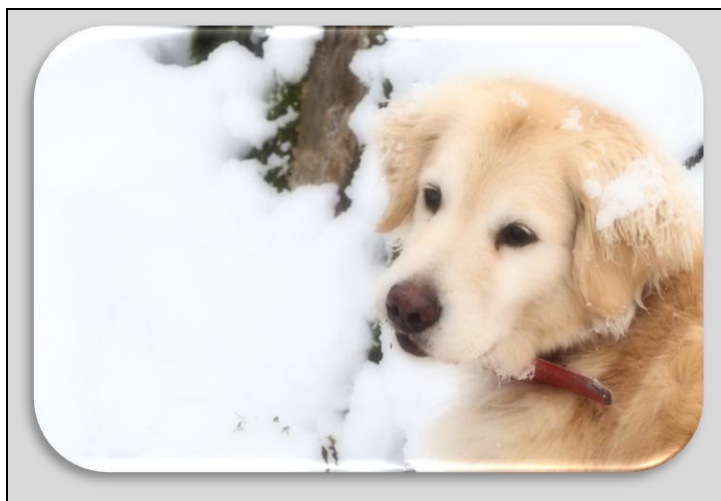


せんりょうの有るお寺

当山のせんりょうは近所の信者さんがせっせと持ってきて下さり住職が植えた記憶がございます。その信者さん家族の訃報が舞い込んできました。享年104歳でした。ご冥福をお祈りいたします。



雪の日のボク達🐶



そうちゃんの子が大きくなりました

ご存じ当山看板犬のそうちゃんの子の様子がザイシヨから送られてきました。可愛いですね。



文責 東光寺 英隆